

# 「接続料の算定等に関するワーキンググループ」 事業者ヒアリング資料

2025年12月19日

株式会社NTTドコモ

つながり。驚きを。幸せを。

<sup>NTT</sup>  
docomo

# スタックテストの対象サービスについて

- ドコモmini 4GBは、検証対象とすることに異論はない
- ドコモmini 10GBおよびahamoは、MVNOのプランとの近接性がないことや、過去検証時から競争環境の変化がないことから、検証対象外と考える

## MVNOが主張する検証対象サービスに対する当社意見

対象サービス	検証を要望しているMVNO			当社意見
	MVNO 委員会殿	IIJ殿	オプテー ジ殿	
ドコモmini 4GB (税込2,750円/月) ※最大割引後 税込990円/月	○	○	-	✓ <u>2025年6月より提供開始したプランであり、MVNO委員会殿が提示するMVNOの5GBのプランとの近接性が確認でき、モバイルスタックテストの指針(以下、GL)の検証対象の要件を満たすことから、検証対象とすることに異論はない</u>
ドコモmini 10GB (税込3,850円/月) ※最大割引後 税込2,090円/月	-	○	-	✓ <u>2025年6月より提供開始したプランであるが、提供料金においてIIJ殿が提供する10GBプランとの近接性はなく、GLの検証要件を満たさない</u>
ahamo 【大盛りオプション含む】 (税込2,970円/月) ※大盛りオプション申込月は 税込4,950円/月	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>過去検証時から利用者料金の改定や接続料等の上昇はなく、競争環境の変化は認められないため、再検証は不要と考える</u></li> <li>✓ <u>今回要望をいただいた大盛りオプションは、提供容量やプラン設計においてオプテージ殿が提供する50GBのプランやMVNO委員会殿が提示するMVNOの100GBのプランとの近接性はなく、GLの検証要件を満たさない</u></li> </ul>

# その他考慮事項について

項目	MVNOの主張	当社意見
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 営業費相当額では、人件費や広告宣伝費等の費用計上の按分や割合が非開示であるため、検証時には営業費相当額が直近1年間で大きな変化がなかったか等を注視し、大きな変化が認められる場合は、直近の営業費相当額での検証の必要性について議論を要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 第94回接続料の算定等に関する研究会にて事務局よりご発言があった通り、<u>MNO各社の営業費比率が前年度と比べて著しく上昇しているような場合においては、必要に応じて改めて検討することが適当であるとされたものと認識</u></li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ MNOに対し、廉価プラン等が内部補助によって不当に維持されていないことの会計的な説明を要望</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <u>スタックテストは価格圧搾による不当な競争を引き起こすことにならないかを確認する目的で実施するものであることから、GLに則って判断されるべきもの</u>と考える</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 5GSAの機能開放においてはMVNOでも通信品質を確保することが重要であり、従来のピーク時基準の帯域課金では、ピークと非ピークの差拡大による費用対効果の低下が懸念される。帯域設定の柔軟化を事業者協議で進めるべきだと整理されているが、MNOが従量課金の選択肢を用意するなど議論を深める必要がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ 第96回接続料の算定等に関する研究会において、構成員よりご発言があったとおり、「<u>接続料に関しては、従量課金という考え方もあり得る中で、帯域課金の方がMVNOの予見性が高いということで帯域課金が選択されてきたという経緯がある</u>」という点等も踏まえる必要がある</li> <li>✓ なお、現時点において MVNOから時間単位による帯域設定変更の柔軟化の要望はいただいていない</li> </ul>